

4~5回のまとめ

資産価値の維持

情報発信

めじろ台スタイルの発信

情報収集を含め インスタ
めじろ台の良さのアピール
(内向け・外向けの発信)

住環境保全・改善

きれいな街の維持方策

景観ルール?

暮らしの持続性

情報交換

場づくり

無理のないコミュニケーション

気軽にできる活動・場所
ex.ブックカフェの活用

空き地を活用した公園空間

多世代交流

交流のきっかけづくり

イベントを通じた交流
のきっかけづくり

暮らしの拠点

駅前子育てハブ拠点

駅前の保育所・クリニック

多世代居住

多様な住宅供給

若い世代向け住宅(賃貸)

一人暮らしの2階を学生に貸して2世帯ホームシェア

■主な意見 多世代交流・暮らしの拠点を主なテーマとして意見交換

(肥塚) 保育所、小学校低学年が安全に通わせるためには難しい面もある。駐車場が遠い保育所も。駅前にはハブ拠点があると楽。事例があれば便利。運営する側の苦労もあるか？

(本田) 保育所まで往復で30分程度、送迎にかかる。有料でも便利な場所があれば。小学校で交通事故。めじろ台は歩道のない道路も多い。新しく入居する人にとっての安全環境確保は重要。テレワークが増えきたが、今後出社も増えていくかも。

(中村) 親が送迎。祖父母が近居でないと保育所送迎は難しい。

(高野) 幼稚園と保育所で国の管轄が異なるので園側の送迎の有無に違いあり。ドライブスルー型が良いのかどうか。親とのコミュニケーションが取れない。虐待の察知が難しい。駅前にはハブ拠点作る事例もあるが、八王子駅等、乗降客の多い駅が優先されるのでは。京王電鉄が新しく作るストアのところに保育所を併設するなど。京王も保育事業を行っている。公共施設は新耐震基準でないため。新しいものができるのはチャンス。後から保育所つくるは難しい。

(中村) 総合的なストーリーが必要。うまくいっている事例があればよいが。

(高野) 自分たちでできることも考えてみても。

(大石) 送迎以外にも問題は？延長料金の問題など。送迎の担い手が足りない。スポットでの対応が困難。テレワークのタイムシフトで兼業(運転手)

(高野) 送迎の空き時間の流用。運転手の確保は大変。

(中村) 待機児童対応ははできている。10年経ったらどうか。めじろ台がどうなっているか。

(大石) 宮崎市、都城市は子どもが増えている。自治体が施策を打っているからか。

(中村) 町ぐるみで、若い世代の移住を促進。1,000万円ぐらいに下がると入居する人が増えてくる。敷地に2世帯となり重層長屋になってしまう。⇒テラスハウスなど

(大石) 保育所の送迎が一番の問題。

(中村)託児所は？バーミヤンの後とか⇒耐震上使えない？

(大石)保育ママ制度は？⇒採光、面積、対象年齢とか要件あり。保育ママ制度をうまく活用できないか。

(高野)ハートビル法の関係からEV設置の指導も。今あるものを改修しては大変。新しいものがやりやすい。保育所ということから脱却しないといけない。地域(子ども会など)が作らせた保育所とか。

(大石)ダメ元で力のある保育所に話を聞いてみるとか。恵愛？保育園とか。サテライトとか？

(高野)このまちには公共施設がない。京王電鉄がそういう土地を用意しなかった。

(大石)保育所以外で何か？病院とか。⇒みなみ野病院。みなみ野行きのバス路線がない。

(深井)座間、星の谷団地化？子育てしている親のためのサポート施設だった。相談員がいれば、めじろ台でも可能か？駅前が預かって、各保育所に届けるサービスがあればよいが。

(イ)鎌倉の今泉台でも検討。制度的に空き家転用、クリアできない。築40年くらいの空き家だったが、500万円程度必要。法人に聞いてみる以外に、アンケート等で需要とか聞いていないか？駅前空きスペース活用するなら、有志のボランティアのお母さんたちで子どもの見守りの仕組みを作ってみることも。

(小林)児童館は高校生までが対象。

(中川)みちくさくらす<https://michikusakurasu.com/>

(中村)池上の蕎麦屋のあとを活用した事例も。

(高野)役所に期待するだけでなく、自分たちでできることを考えても。保育士経験のある人などを担い手として。

(下島)子育てで困っている人を巻き込まないといけない。

(中村)年代を含め、何がターゲットか？

(深井)子どもの居場所は多い。保育から漏れた子どもをどうフォローするか。制度的にも要件的にも緩い。日本財団の助成事業もある。子ども食堂ネットワークの情報。<https://musubie.org/kodomosyokudo/>

(安藤)地元で運営するのはなかなか難しい。来てくれる人を探してみる。人のネットワークでやっていく。企業お願いすることも。地元以外の人も受け入れる。

(鈴木)保育所の保護者がどこを通っているかを分析するとどの時間にどこに集まるか、その経路上に託児所を作るなども。流山市、送迎保育ステーション、駅に託児所設けて、それぞれの施設に行く。行政がやっているが地元で運営しても。GPSデータから分析する方法もあるが、子育てされている人に聞き取りして聞く方法もある。

(大石)もう一回、廻さないといけないか。流山ほか勉強する価値はある。パークアンドライド。めじろ台会館で実施していた出張保育は今は人で不足でやらなくなった。

⇒次回に向けて：調べに行く。敬愛保育園にヒアリング。どのようにアンケートをとるか？聞き方の情報を得る。

どこ行くか、何をしたいか？チャート図作って、アクションプランにつながらない。

送迎ステーションはきっかけの一つ。最終的には、自分たちでできることを見つけに行くこと。

チャンネルがないなかどうアプローチするか。

ニーズをちゃんと拾い切れていない。⇒そのためにどうする。

めじろ台テラスに来られた子ども連れに聞き取りするが、情報が限られる。

テラスの壁を使って情報書いてもらうとか。

まとめと今後何をやっていくか決めていく。

次回日程：7月28日(金)19:00～